

2026年7月9日

報道関係各位

三菱地所株式会社  
一般社団法人 大丸有環境共生型まちづくり推進協会

## 取材のご案内

### ～ 高校生・大学生が丸の内に通学&社会課題や等身大のキャリアを考える夏の3日間 ～ **「丸の内サマーカレッジ 2026」取材のご案内**

日時：2026年8月12日（水）～14日（金） 各日 10:00～17:30（※最終日のみ～18:00）

集合：3×3Lab Future（東京都千代田区大手町 1-1-2 大手門タワー・ENEOSビル 1F）ほか

三菱地所株式会社、大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり3団体<sup>\*1</sup>の一般社団法人 大丸有環境共生型まちづくり推進協会（以下、エコツヅエリア協会<sup>\*2</sup>）は、大手町にある業種業態の垣根を越えた交流・活動拠点 3×3Lab Future 等において、これからの日本を担っていく**高校生・大学生等**が、他学の仲間と交流しながら、様々な分野で社会課題解決等に向けて活躍する方のキャリアを参考に、今後の生き方や**取り組みたいプロジェクトのアイデアを自由に考えていく「丸の内サマーカレッジ 2026」**のメインプログラムを8月12日（水）～14日（金）にて開催いたします。

つきましては、メインプログラムの日程で報道関係の皆様向けに取材いただける場を設けましたので、ご多忙の折とは存じますが、ぜひ取材いただきたく下記の通りご案内します。取材いただける場合は**8月10日（月）12:00までにこちらのフォーム**から、もしくは以下＜取材のお申し込みについて＞に記載の必要事項をご記入の上、メール（tokyo-omy-pr@kyodo-pr.co.jp）にてお申し込みいただきますようお願いいたします。

「丸の内サマーカレッジ 2026」は、学生たちが夏休み期間を利用し、**社会課題解決などに情熱をもって取り組む8名の講師陣**の生き方や思考を3日間聴講、他学の仲間と交流しながら、自身のキャリアのヒントを掴んでいくプログラム。最終日には、「**自分たちが社会に対してできること**」をテーマに、**学生同士で対話しながら自由に考えた、これから取り組みたいプロジェクトのアイデアを発表**します。



#### ◆丸の内に生まれる「学びの循環」

かつての受講生が、講師として登壇。

2018年よりスタートし9回目の開催となる本イベントの最終日には、過去に丸の内サマーカレッジに参加した学生が成長を遂げ、講師の一人として登壇。現在は多様な領域から新規事業の種を見つける業務に取り組む伊藤 奎祐氏<sup>\*3</sup>が、丸の内サマーカレッジでの出会いや気づき、そして成長の軌跡を学生に語り、学びを次の世代につなぎます。

## 【報道関係者向けプログラム公開内容】

日時：2026年8月12日（水）～14日（金） 各日 10:00～17:30（最終日のみ～18:00）

場所：3×3Lab Future（東京都千代田区大手町 1-1-2 大手門タワー・ENEOSビル 1F）ほか

内容：**2026年8月12日（水）10:00～17:30（メインプログラム）**

：講演「『学び』を『実践』へ発展させる3日間のはじまり」・「社会課題を自分ごとに」、  
フィールドワーク「大丸有まち歩きツアー」

**2026年8月13日（木）10:00～17:30（メインプログラム）**

：講演「グローバルな視点を体感しよう」・「つながりが生む、新しい可能性」、ワークショップ「テーマ検討」

**2026年8月14日（金）10:00～18:00（メインプログラム）**

：講演「自分らしいキャリアを切り拓く」、ワークショップ「発表準備」・「発表」

※各日の休憩時間（12:00～13:00、15:00～15:30）の一部及びメインプログラム終了後に、質疑応答や参加者の声をご取材いただける時間を設ける予定です。



過去の講演とその聴講の様子



過去のまち歩きの様子



過去の発表準備・発表の様子



### <取材のお申し込みについて>

取材いただける場合には、お手数ですが、下記のいずれかにてお申し込みをお願いいたします。

・お申し込みフォーム：<https://forms.gle/FeuiQujo7hUkM6GP9>

・下記必要事項をご記載の上、PR事務局へメール（tokyo-omy-pr@kyodo-pr.co.jp）でご連絡ください。

#### 【必要事項】

貴社名：

貴媒体名：

お名前：

ご連絡先：TEL.

Mail.

参加人数：

撮影：【スチール（台）・ムービー（台）】

#### <8月12日（水）>

10:00～12:00 講演 1 「『学び』を『実践』へ発展させる3日間のはじまり」

13:00～15:00 講演 2 「社会課題を自分ごとに」

15:30～17:30 フィールドワーク「大丸有まち歩きツアー」

※撮影可能エリアについては、当日スタッフがご案内させていただきます。

参加者の声をご取材

※プログラムの進行上、休憩時間（12:00～13:00、15:00～15:30）の一部、及びメインプログラム終了後（17:30以降）に限ります。

#### <8月13日（木）>

10:00～12:00 講演 3 「グローバルな視点を体感しよう」

13:00～15:00 講演 4 「つながりが生む、新しい可能性」

15:30～17:30 ワークショップ 1 「テーマ検討」

参加者の声をご取材

※プログラムの進行上、休憩時間（12:00～13:00、15:00～15:30）の一部、及びメインプログラム終了後（17:30以降）に限ります。

#### <8月14日（金）>

10:00～12:00 講演 5 「自分らしいキャリアを切り拓く」

13:00～15:00 ワークショップ 2 「発表準備」

15:30～18:00 ワークショップ 3 「発表」

参加者の声を取材

※プログラムの進行上、休憩時間（12:00～13:00、15:00～15:30）の一部、及びメインプログラム終了後（18:00以降）に限ります。

## (ご参考 1) メインプログラム内容

メインプログラム	DAY1 8/12 (水)	DAY2 8/13 (木)	DAY3 8/14 (金)
10:00 - 12:00	<b>講演1</b> <b>「学び」を「実践」へ発展させる3日間のはじまり</b> 講師：長岡健氏 オープニングとなる本講義では、学んだ知見を、自分ごととしてとらえ、実践にどう活かしていくかの心構えを教わります。また本プログラム3日間を通して活動するグループを組成するため、ワークショップも開催します。	<b>講演3</b> <input type="checkbox"/> ONLINE <b>グローバルな視点を体感しよう</b> 講師：榎本博之氏 米国シリコンバレーで起業家として活躍する榎本さんから、グローバルでビジネスを展開するということの本質や、「日本の常識≠世界の常識」など皆様の世界観を広げるお話をいただきます。 ※オンライン登壇	<b>講演5</b> <b>自分らしいキャリアを切り拓く</b> 講師：倉根明德氏、伊藤奎祐氏 行政の立場で都市計画やまちづくりに取り組み市民連携で地域価値創出に挑戦してきた倉根氏と、丸の内での出会いを起点にキャリアを切り拓き企業で多様な領域から新規事業の種を見つける業務に取り組む伊藤氏が、人のつながりや場の力をどう活かしキャリアや社会との関わりを形づくってきたか、そのプロセスと挑戦を語ります。
12:00 - 13:00	昼食		
13:00 - 15:00	<b>講演2</b> <b>社会課題を自分ごとに</b> 講師：東野唯史氏、久松達央氏 Rebuilding Center JAPANを立ち上げ、古材や古道具に新たな活動を見出し販売する活動を行う東野氏、茨城県土浦市で農園を経営しながら、日本の農業の課題や未来についても考えながら日々取り組む久松氏。より良い社会を築いていくため、課題に向き合い挑戦を続けた経験をお話いただきます。	<b>講演4</b> <b>つながりが生む、新しい可能性</b> 講師：小南理華氏、八木橋 パチ 昌也氏 学生時代の活動がきっかけで東北地方にかかわるようになった小南氏。本業では共創パートナーを増やし関係性を深める活動をするとともに、社外では誇りある就労をキーワードに就労支援に取り組む八木橋氏。お二人のこれまでの歩みから、つながりが生む、新しい可能性について学びます。	<b>ワークショップ2</b> <b>発表準備</b> テーマ発表の方法について学びます。これまで検討してきたテーマ内容について、チームごとにプレゼンテーションの準備をします。
15:00 - 15:30	休憩		
15:30 - 17:30 [DAY3のみ-18:00]	<b>フィールドワーク</b> <b>大丸有まち歩きツアー</b> 大丸有(大手町・丸の内・有楽町)エリアがどのような歴史から現在に至るのか、これまでの歩みと未来に向けたまちづくりに関してお伝えします。	<b>ワークショップ1</b> <b>テーマ検討</b> それぞれのチームが選択したテーマについて、関連する事項やキーワードを抽出し、各テーマのストーリーラインを創り上げます。	<b>ワークショップ3</b> <b>発表</b> チームで検討してきた内容を発表します。この3日間の成果発表として、ビジネスパーソン向けにプレゼンテーションしていただきます。

※参加方法：会場

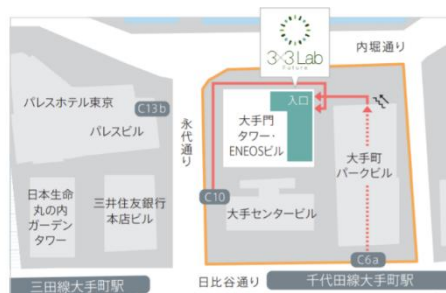
### 【注釈】

- (\*1) 「一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会（大丸有協議会）、NPO 法人 大丸有エリアマネジメント協会（リガーレ大丸有）一般社団法人 大丸有環境共生型まちづくり推進協会（エコツヅエリア協会）」の3団体は連携して大丸有地区のまちづくりを推進しています。  
 URL : <https://tokyo-omy.jp/>
- (\*2) エコツヅエリア協会は、会社でも自宅でもない第3の場所「3×3Lab Future」を拠点として、「社会」「環境」「経済」をテーマに大手町・丸の内・有楽町（大丸有）地区のまちづくりを推進しています。大丸有地区に集う企業や大学、官公庁などのコミュニティ形成や、次世代の持続可能な社会の実現に向けて、未来につながる持続可能なビジネス創発に取り組んでいます。  
 URL : <https://www.ecozzeria.jp/>
- (\*3) 伊藤 奎祐(いとう けいすけ)氏  
 丸の内サマーキャンプ（現サマーカレッジ）2018 卒業生。  
 大学時代に丸の内サマーカレッジへ参加したことをきっかけに、3×3Lab Future の会員となり、多様な価値観や生き方に触れる中で自身の視野を広げ、キャリアの選択肢を大きく広げられました。現在は金融機関にて新規事業の創出に向けた探索業務に従事しています。



### 「丸の内サマーカレッジ 2026」開催概要

開催日時：オリエンテーション…2026年8月6日(木)16:00～17:30  
 メインプログラム…2026年8月12日(水)～14日(金)各日 10:00～17:30(最終日のみ～18:00)  
 受講対象：高校生、大学生・大学院生  
 定員：60名  
 参加費：無料  
 参加方法：オリエンテーション オンライン参加（WEB会議システム「Zoom」による配信）  
 メインプログラム 会場参加  
 ※会場：3×3Lab Future（東京都千代田区大手町 1-1-2 大手門タワー・ENEOSビル 1F）



#### ＜アクセス＞

東京メトロ（東西線・千代田線・半蔵門線・丸ノ内線）、都営三田線「大手町」駅（C10出口）より徒歩約2分



「丸の内サマーカレッジ 2026」サイト 二次元コード

主催：三菱地所株式会社、エコツヅエリア協会  
 URL : <https://www.ecozzeria.jp/events/msc/msc2026.html>

## (ご参考 2) 丸の内エリアの夏の取り組み「MARUNOUCHI SUMMER FEST」について

三菱地所が推進する「まちまるごとワークプレイス構想」を体現する取り組みの一環として、丸の内エリア全体を活用した夏の施策「MARUNOUCHI SUMMER FEST」を実施します。夏季においては、これまでも「丸の内サマーカレッジ」をはじめ、様々な企画を展開してきましたが、本年よりこれらの取り組みを拡張し、“まちまるごと”で展開・発信することで、丸の内における新たな「夏の風物詩」となることを企図しております。

公式サイト：<https://www.marunouchi.com/lp/marunouchisummerfest2026/>

～働くまちは、楽しむまちへ～

### MARUNOUCHI SUMMER FEST

多様な働き方が広がり、ビジネスエリアは「働く場所」だけでなく、生活の質を高める複合的な役割が求められるようになっていきます。丸の内エリアでは、企業・店舗・公共空間・人々のつながりを活かし、まち全体の魅力向上やまちで働く就業者の満足度・QOLの向上に資する取り組みを進めています。

就業者やそのご家族がこのまちで過ごす時間の楽しさや豊かさを実感いただくとともに、丸の内エリアへの愛着をより深めることで、持続的なまちの価値向上につなげてまいります。



### <丸の内“まちまるごとワークプレイス”構想>

丸の内エリアの特性の一つは、135年以上にわたるまちづくりを通じてお客様や様々なステークホルダーと共に築き上げてきた「利便性と集積」です。

その特性を踏まえ、テナント企業が自社オフィスだけでは実現できないことや、個社単独の取り組みでは実現しにくいことを「まちまるごと」でサポート、エリア全体がプラットフォームとして機能することで、働き方の質や効率を高めます。



▲ まちまるごとワークプレイスのイメージ

始動リリース：[https://www.mec.co.jp/news/detail/2025/05/22\\_mec2500522\\_machi](https://www.mec.co.jp/news/detail/2025/05/22_mec2500522_machi)

本資料は本日付で国土交通記者会・国土交通省建設専門紙記者会・文部科学記者会へ配布しています。

### <本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先>

大手町・丸の内・有楽町地区街づくりPR事務局 共同ピーアール(株) PRアカウント本部 5局2部 担当：内山  
TEL：070-4303-7327 FAX：03-6260-6653 E-mail：[tokyo-omy-pr@kyodo-pr.co.jp](mailto:tokyo-omy-pr@kyodo-pr.co.jp)